

基本目標	望ましい街の姿（基本目標レベルで目指すべき将来像）	重点戦略課題
<p>元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ</p>	<p>多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市の様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。</p> <p>また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。</p>	<p>中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援</p> <p>安心して働ける環境づくり</p> <p>協働による観光振興とコンベンション事業の推進</p> <p>さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出</p> <p>アジアの産業ネットワークの拡大</p>
<p>健やかに暮らせる共生の街さっぽろ</p>	<p>高齢者、障がいのある人、子育て家庭など誰もがお互いを理解し、尊重し合いながら、地域の中でふれあい、支えあって生きいきと健康に暮らしています。</p> <p>地域の交流や支えあいを通じて、人と人のネットワークが核となって、様々な分野に市民活動の輪が広がり、課題の解決や目標の実現に向けて、個性豊かな地域づくりが進められています。</p>	<p>魅力あふれる地域づくりの推進</p> <p>少子化対策の推進</p> <p>地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進</p> <p>地域での健康づくりの推進</p>
<p>世界に誇れる環境の街さっぽろ</p>	<p>多雪寒冷な気候がもたらす北国らしい明瞭な四季を通じて、ゆたかなみどりや水辺、雪など変化にとんだ自然環境を身近に楽しむことができます。</p> <p>都心部や地域の中心などでは、都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー利用効率や公共交通の利便性に優れ、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。</p> <p>都市の環境を守り、将来の世代に良好な環境を継承するため、市民一人ひとりが資源やエネルギーをできる限り使わない、ごみを発生させないといったことを基本とする生活が定着しています。</p>	<p>水とみどりのうらおいと安らぎのある街の実現</p> <p>地球環境問題への対応と循環型社会の構築</p> <p>ゆたかな冬の暮らしの実現</p> <p>歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造</p>
<p>芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ</p>	<p>誰もが気軽に参加できる文化活動が街のいたるところで行われているとともに、市民のライフスタイルや多様なスポーツ活動に応えることのできる環境づくりが進み、文化、スポーツを身近なものとして感じるすることができます。</p> <p>札幌ならではの質の高い芸術や伝統文化に触れる機会が充実するとともに、スポーツにおける札幌ブランドが高まり、札幌の街の個性として独自の文化を育てています。</p> <p>芸術・文化やスポーツの魅力あふれる札幌の都市文化を世界に向けて発信し、国内外の人たちとの交流を深めています。</p>	<p>芸術・文化の薫る街の実現</p> <p>スポーツの魅力あふれる街の実現</p>
<p>ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ</p>	<p>子どもたちは、地域社会の中で温かく見守られながら、夢や目標の実現に向かって、学習やスポーツに生き生きと取り組むとともに、社会の一員として、家族や友人と一緒にボランティアや地域活動にも積極的に参加しています。</p> <p>市民のだれもが、それぞれのライフステージで積極的に学び、ゆたかな人間性や創造性を培い、学んだ成果を様々な機会を発揮するとともに、自分の可能性に挑戦し海外でも活躍するなど、人生に生きがいや楽しさを感じながら暮らしています。</p>	<p>自立した市民に育てる教育の推進</p> <p>さっぽろを支え、発信する人づくり</p>

**基本目標：健やかに暮らせる共生の街さっぽろ**  
**重点戦略課題：魅力あふれる地域づくりの推進**

## 市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

地域の住民が、自分たちのまちに関心を持ち、まちを良くしようという思いを高め、自然、文化、歴史など地域の特色を活かしながら、地域の課題解決や目標の実現に向け話し合い、行動することにより、個性豊かで魅力あふれるまちがつくられていきます。その中で、一人ひとりが「我がまち」に誇りと愛着を抱き、豊かさを実感していきいきと暮らしています。

**現状と課題**

地域が抱える課題の複雑化  
 市民自らが決定し、行動できるまちづくり  
 町内会の加入率の低下、活動する人の固定化や高齢化  
 まちづくり活動団体相互の連携のための拠点確保  
 NPOなど市民活動の継続や充実に向けた環境づくり  
 地域の特性に応じた住民主体のまちづくり

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

## 市民

- ・ まちづくりに関する意識の向上
- ・ 町内会等の地域コミュニティ活動への参加
- ・ NPO、ボランティア活動等への参加 など

## 企業等

- ・ まちづくり活動への参加
- ・ まちづくり活動に対する支援 など

## 町内会・NPO・ボランティア団体等

- ・ 住民相互の連帯感の醸成(町内会)
- ・ 団体相互の情報共有や交流による協働意識の醸成
- ・ 地域におけるまちづくり活動の推進 など

## 行政

- ・ 市民、各団体への情報提供
- ・ 各団体への活動支援
- ・ 市民が地域のまちづくりに参加するための仕組みづくりへの協力 など

**施策の基本方針**

市民の主体的なまちづくり活動を様々な側面から支援する  
 情報の共有や交流、ネットワーク化などを通じて、協働による地域のまちづくりを促進する  
 区や地域の特性を活かした魅力的で活力あふれる市民自治による地域づくりを進める

**施策**

<市民の主体的なまちづくり活動の支援>

様々な世代への市民活動に関する啓発や多様な学習機会の提供  
 まちづくり活動を担う団体に対する、情報、活動の場、資金、人材育成などの面からのより効果的な支援

<市民と行政及び市民相互の情報の共有や交流、ネットワーク化の促進>

多様な市民や行政が、地域の課題を共有し、相談し合える場として、連絡所の機能を強化

<区や地域の特性を活かした市民自治による地域づくりの推進>

各区、各地域の持つ自然、文化、歴史などの資源を活用した地域づくりの推進  
 住民自らが地域課題の解決や目標の実現を目指し行動する仕組みづくり

## 分科会での主な議論

住民が主体となってまちを守り育てる活動を広げていくべき。  
 地域の人材活用・ネットワークづくりや、活動促進のためのコーディネーターの育成。  
 若者や高齢者が福祉活動やボランティアに取り組むための場づくり。  
 地域で活動するNPOを育成するための具体的な支援策を検討すべき。  
 地域の情報提供・相談機能の強化。  
 (よろず相談所的な地域の情報提供・相談の拠点の必要性)  
 年齢や障がいの有無に関らず、誰もが集い、ふれあうことのできる地域の居場所づくりについて、官民協働での取組を検討すべき。 など

**基本目標：健やかに暮らせる共生の街さっぽろ**  
**重点戦略課題：少子化対策の推進**

## 市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

子どもを持ちたい人が、家族や職場の理解・協力、地域での様々な交流や支援の中で、安心して子どもを産み育てており、みんなが子どもたちの健やかな成長を見守っています。

子育てをしながら、仕事や社会参加など、それぞれのライフスタイルに合った生活を実現するための環境も整っており、子育てに夢の持てるまちになっています。

## 現状と課題

大都市の中でも極めて低い合計特殊出生率

子育てに対する職場の理解・支援の不足や保育施設の不足

子育て中の女性の育児不安・ストレス、子どもへの虐待の問題

若い世代(特に思春期)の健全な母性・父性の育成

## 各主体の主な役割

((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

## 市民

- ・ 男女の協力による子育て
- ・ 地域の子どもに対する見守り・声かけ
- ・ 世代間交流などのボランティア活動への参加 など

企業・社会福祉  
法人・学校法人

- ・ 子育てしながら働きやすい職場環境の整備
- ・ 独自の子育て支援サービスの提供
- ・ 幼児保育・教育事業の実施 など

町内会・NPO・ボ  
ランティア団体等

- ・ 地域等での子育て支援活動の推進 など

## 行政

- ・ 子育て支援サービスの提供・調整
- ・ 母子保健事業の推進
- ・ 児童虐待予防・防止への取り組み
- ・ 子どもの健全育成の支援・連携 など

## 施策の基本方針

市民の知恵や経験などを活かして地域の子育て支援を拡充する  
 子どもが心身ともに健やかに育つための支援体制を整備する  
 子育てと仕事などの両立を支援する取組を進める

## 施策

## &lt;地域における子育て支援の拡充&gt;

町内会、NPO、ボランティア団体などとの連携・協働による、子育て家庭の交流、相談の場の拡充  
 子育てに関わる機関や施設などの相談・支援機能の充実や相互の連携の促進

## &lt;子どもが心身ともに健やかに育つための環境づくり&gt;

妊産婦や乳幼児に関する保健・医療の推進  
 子どもたちが放課後、自由に遊び、安全に過ごせる施設の充実  
 思春期の青少年の性や健康に関する学習、乳幼児とのふれあい体験の機会等の充実

## &lt;子育てと仕事などの両立支援の推進&gt;

保育所待機児童の解消、就労形態の多様化に対応した各種保育サービスの促進や放課後児童健全育成対策の充実  
 国など関係機関との連携による、子育てに対する企業の理解や支援についての意識啓発

## 分科会での主な議論

家庭で孤立している母親や子どもをフォローする工夫や仕組み。  
 子育てをしながら仕事のしやすい環境づくり。  
 (保育所待機児童の解消、子どもが病気になったときの対応、企業による子育てへのサポート) など

## 基本目標：健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

## 重点戦略課題：地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

## 市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

まちには多くの市民が関わる支えあいの仕組みや誰もが安心して快適に行動できる環境が整っています。高齢者や障がいのある人が、自分自身に適したサービスを選択・活用し、心のふれあいや社会参加などを通じて、地域の一員としてのつながりを保ちながら、生きがいや尊厳を持って暮らしています。

**現状と課題**

介護保険，支援費制度導入など社会状況の変化  
 地域での自立した生活への意識の広まり  
 地域での支えあい活動やボランティア活動への支援の必要性  
 多様な価値観を持つ高齢者の生きがい対策の必要性  
 介護予防策や介護・保健福祉サービス体制の充実  
 障がいに対する市民理解の不足  
 障がいの種別・程度に応じた保健福祉施策や相談支援体制の充実  
 公共的施設のバリアフリー化の必要性

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民，企業，行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

## 市民

- ・ 高齢者・障がいのある人への理解推進
- ・ 地域福祉活動への参加
- ・ 積極的な社会参加(高齢者，障がいのある人)など

## 事業者・企業

- ・ 介護・福祉サービスの実施
- ・ 地域福祉活動への参加・支援
- ・ 市民，地域への情報提供 など

## 町内会・NPO・ボランティア団体等

- ・ 地域福祉活動への参加・支援
- ・ 多様な介護・福祉サービスの実施
- ・ 高齢者，障がいのある人への理解推進
- ・ 市民，地域への情報提供 など

## 行政

- ・ 公共的施設のバリアフリー推進
- ・ 市民理解の促進
- ・ 介護・福祉サービスの充実と地域福祉活動への支援
- ・ 関係機関の連携促進 など

**施策の基本方針**

安心のための公共的施設の整備を進める  
 心のバリアフリーが広がるよう努める  
 多様な社会参加や地域生活支援の充実を図る

**施策**

## &lt; 高齢者・障がいのある人の地域生活支援の充実 &gt;

介護予防事業，心身状況や障がいの種別や程度などに応じた介護・保健福祉サービスの充実  
 地域ケア体制の充実と総合的な介護・保健福祉サービスの提供  
 地域の実情に即した介護や福祉サービスの拠点づくりの促進と地域住民などによる福祉活動の支援  
 安心して住み続けることのできる住宅整備の促進や住まいの課題などを市民と行政が協働して解決する仕組みの検討

## &lt; 高齢者・障がいのある人の社会参加の促進 &gt;

市民活動への支援，福祉教育の推進，障がいのある人の意見を積極的に市政に反映させる取組などを通じた市民理解の促進  
 学習機会の提供，文化・スポーツ活動や就労支援など，多様な社会参加の機会の拡充

## &lt; 街のバリアフリー化など安心のための公共的施設の整備 &gt;

地下鉄駅などへのエレベーターの設置や歩道のバリアフリー化など交通環境の整備と施設のバリアフリー化の推進

## 分科会での主な議論

障がいのある人が地域で暮らし続けることのできる仕組み。  
 (子どもの頃から地域との関りを保ちながら生活できる環境)  
 高齢者，障がいのある人(子ども)などを総合的に支える地域ケアシステム。  
 (高齢者，障がいのある人(子ども)など区分なく，総合的に受け入れるデイケアなど)  
 高齢者や障がいのある人の共生を支えるための札幌独自の制度や取組を検討すべき。 など

基本目標：健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

重点戦略課題：地域での健康づくりの推進

## 市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

市民一人ひとりが自らの健康に高い関心を持って暮らしています。地域、学校、職場など生活の場には、健康づくりを支える環境が整っており、市民が主体的に生活習慣の改善や体力の増進など、それぞれ自分に合った健康づくりを実践しています。

**現状と課題**

生活習慣病や要介護高齢者の増加  
健康づくりへの主体的な取組  
健康づくりの地域への定着・発展の促進  
学校、職場、企業などにおける健康づくりを支える活動や環境整備

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

**市民**

- ・ 健康度の把握
- ・ 健康づくりの実践と仲間づくり
- ・ 地域における健康づくり活動への参加 など

**保健医療関係  
団体・企業等**

- ・ 専門的な相談・情報提供
- ・ 職場での健康管理や健康教育・相談の実施
- ・ 良質な健康関連食品・サービスの提供
- ・ 地域の健康づくり活動との連携 など

**町内会・NPO・ポ  
ランティア団体等**

- ・ 健康づくりに関する学習・実践の場や機会の提供
- ・ 地域の健康づくり活動との連携 など

**行政**

- ・ 市民への情報提供、普及啓発
- ・ 地域の健康づくり活動の支援
- ・ 健康づくりを支援する環境の整備 など

**施策の基本方針**

市民の健康づくりに関する意識を高め、主体的な健康づくりを支援する  
地域、職場、関係機関等と連携して、健康づくりを支える環境整備を進める

**施策**

- <一人ひとりの健康づくりの支援>  
情報提供、各種健診・健康教育や介護予防事業などの実施による、市民の健康づくりへの意識啓発や継続的な実践への支援
- <地域における健康づくりの促進>  
地域の健康づくりを推進する担い手となる人材の育成  
住民組織や市民グループの育成・支援や相互のネットワーク化
- <健康づくりを支援する環境整備>  
職場における従業員の健康管理に対する意識を高める取組や企業・商店などが行う市民の健康を意識した活動の促進  
その他、学校や保健医療関係団体などの特性や機能を生かした健康づくりの支援体制の整備  
スポーツ施設や健康づくり関連施設など地域資源や人材の活用による健康づくりの環境整備

**分科会での主な議論**

健康づくりに関する情報提供、相談機能の充実とそれを支える組織や人材のネットワーク。  
子どもの頃からの健康教育。  
誰もが適切に医療を受けることのできる仕組み。(国民健康保険制度の問題) など

## 成果指標

## 成果指標とは

まちづくり計画に掲げる政策目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、その目指すべき水準について数値などを用いて定量的にわかりやすく示すとともに、政策・施策の成果を把握していくための指標。

## 新まちづくり計画での位置付け

基本目標に掲げる「望ましい街の姿」の実現に向けて、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が協働して、ともに目指していく数値目標。

より適切な指標の選定や定期的なデータの把握など、時間をかけて検証しなければならない課題があることから、今回は、試行として位置付けている。

指標は、できる限り、「成果指標（アウトカム指標）」を採用するが、データがとれないなど設定が困難な場合には、「活動指標（アウトプット指標）」で代替する。

## 指標の種類

- ・活動指標（アウトプット指標）…事業費や事業量など、具体的な活動量や活動実績を測る指標（例：道路の整備延長）
- ・成果指標（アウトカム指標）……施策や事業の実施により得られた成果を測る指標（例：交通渋滞の緩和）

## 指標項目選定の基本的な考え方

重点戦略課題ごとに2～5の指標を設定。（全体で50余の項目）

市民にわかりやすい指標項目を基本とするが、データ把握の可否なども踏まえて選定。

## 目標値設定の基本的な考え方

既に部門別計画などで目標値が定められているものについては、その考え方との整合性を図る。

新たに設定する指標については、指標の現状値や過去の推移、全国の状況などを勘案して目標を設定。

指標項目	現状値	目標値	備考	
	(年度)	(年度)		
町内会、NPO、ボランティアなど市民活動に参加経験のある人の割合	36.0% (H11)	50% (H18)	市民の2人に1人が市民活動に関わりを持つ状態を目指す	
NPO認証法人数 (札幌市に主たる事務所を置くもの)	193 (H14)	400 (H18)	NPO活動の活性化を目指す	
子育てしやすい街だと思ふ人の割合	63.2% (H11)	70% (H18)	市民の概ね3人に2人がそう感じる状態を目指す	
保育所待機児童数	184人 (H15)	0人 (H19)	保育所待機児童の解消を目指す	
子育てボランティア登録者数	1,160人 (H14)	2,000人 (H18)	過去の傾向を上回る登録者数の増を目指す	
札幌市社会福祉協議会ボランティア登録者数	28,942人 (H14)	33,800人 (H18)	過去の傾向を上回る登録者数の増を目指す	
介護サービスを受けながら、在宅で生涯を全うできた人の割合	8.5% (H14)	18% (H18)	介護を要する状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることのできる高齢者が増えることを目指す	
障がいのある人に対する市民の理解が深まっていると感じる障がいのある人の割合	身体障がいのある人	39.2%	障がいに対する市民理解の向上を目指す	
	知的障がいのある人	23.8%		
	精神障がいのある人	37.0%		
	(H13)	(H18)		
週に2日以上外出する高齢者、身体障がいのある人の割合	高齢者	73.6%	80% (H18)	高齢者や身体障がいのある人が安心して快適に行動できる状態を目指す
	身体障がいのある人	69.2%		
	(H13)			
意識的に運動している人の割合 (15歳以上)	男性	48.2%	52% 46%	目標値は「健康さっぽろ21」に掲げるH24目標値を見据えて設定
	女性	42.3%		
	(H12)	(H18)		
すこやか健診受診率	42.2% (H14)	45% (H18)	目標値は「健康さっぽろ21」に掲げるH24目標値を見据えて設定	
健康づくりに取り組む自主活動グループ数	60 (H14)	300 (H18)	地域レベルでの健康づくり活動の活発化を目指す	
健康づくり応援企業・店舗数 は外食料理栄養成分表示をしている店舗数	438 (H14)	1,000 (H18)	市民の健康づくりに寄与する取組を行う企業や店舗の数の増を目指す	